

## 登別・サイパン中学生 交流事業

この事業は、サイパン市にある公立のホップウッド中学校（生徒数1千600人）の2年生を登別市が受け入れるもので、市内の中学生や市民との交流などを目的に行っています。

登別市にはマイ・ウエーブ・クラブ、/My Wave Club（会員100人）に所属する生徒がやっています。

マイ・ウエーブ・クラブの生徒はサイパンの『観光大使』の役割を担っており、自ら外国へ出かけて自国を紹介することはもとより、サイパンを訪れる多くの観光客に心地よく滞在してもらうため、道路

の清掃などさまざまな活動を行っています。

## 登別訪問にあたり

サイパンでは、折に触れて資金カンパ活動をするのが伝統のひとつになっており、市内のあちろちろで、市民がカンパ活動に励んでいる光景を目にします。

ホップウッド中学校の生徒も、市民や保護者が所有する車を洗ったり、コンサートを開催したりするなど資金造成のために活動しており、その益金は災害に見舞われた地域への寄付や旅行費用に充てられています。

登別を訪問するときにも、生徒が自ら得た資金で旅費を賄っています。

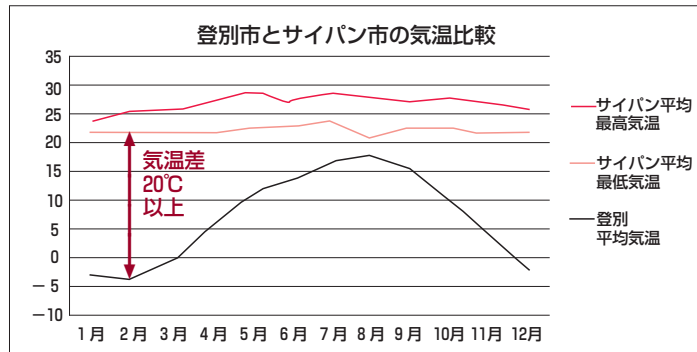


マイ・ウエーブ・クラブのメンバー（上段）とその活動の様子（下段）



## 登別での交流

サイパンは熱帯性気候のため、年間の平均気温が高く気温の変化が少ない、まさに常夏の島です。



この常夏の島に過ごすサイパンの子どもたちは冬の寒さを体験したことがなく、雪を見たこともありません。

そのため、登別市では、北海道の冬が満喫でき、登別の一大イベントの一つ『登別温泉湯まつり』が見学できる2月に交流を行っています。

初めての交流  
平成20年2月1日～7日



っていました。

平成20年に行った第1回目の交流には、生徒11人と引率者2人が来訪しました。登別中学校で行なわれた交流会では登別の郷土芸能『熊舞』を堪能した後、サイパンの伝統的な踊りを披露しました。

最初は緊張していた中学生たちも、習字やけん玉に挑戦したり給食を取るなど、双方の生徒が英語でコミュニケーションを図るようになり、帰り際には、登別中学校の生徒会から手作りの小物をプレゼントされ、嬉しそうに受け取



登別中学校での書道を通じた交流（上段）とサンライバスキー場でのそり滑り体験（下段）



つかりこつを覚え、歓声をあげながら勢い良く坂を走っていました。何度か繰り返して滑っていました。

夜間に行われた湯まつりでは、餅まきや湯かけ合戦、小規模ながら鬼火火を見ることで、生徒たちはそれぞれのプログラムに驚き、感動した様子でした。